

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は **1** のみで、4 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は四十五分で、終わりは午前九時四十五分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

東京都立白鷗高等学校附属中学校

1

次の資料A、資料Bを読んで、あとの問題に答えなさい。

(丸で囲んだ数字が付いている言葉には、それぞれ資料のあとに〔注〕があります。)

資料A

これから社会に出ていこうとする学生たちを対象とした講演会で、学生にこんな質問をしたことがあります。

たとえば、広い体育館があつて「ここで何をしてもいいよ」と言われたら、どうしますか? 「どこでもいいから、寝てください」と言われたとしても、たぶん、ほとんどの人が体育館のど真ん中で寝たいとは思わないはず。

やっぱり、近くに壁があるところに行こうとするんじゃないだろうか。自分の周りに防御ぼうぎよしてくれるもの、守ってくれるものが欲しい。自分がひとりぼっちだと感じないですむような囲いを求めてしまふ。

「自由に生きる」というのは、その囲いを出て、まっさらで何の囲いもない場所に、ぽつんとひとり、立つことなのだと思います。

ものすごい孤独感こどくかんや、心許こころもとなさ、自分自身の頼りたよりなさにさらされて、身がすくむような思いをするかもしれない。それを感じないですむように、人は群れで生きるのです。

② 囲いの中にいて、自分の所属する コミュニティーの価値観かちかんに合わせれば、安心だし、自分で何かを判断する必要がないのですから、

ラクです。「群衆ぐんしゆう」というのは、つまり人が身を守るための囲いでもあるんです。

④ ところが自分に合わない場所だと、囲いに合わせることはかなり息苦しい。反対に、じっくりとくる場所なら、案外苦にならなかつたりもする。いずれにせよ、人はその場に適応するために、周りの価値観と自分の価値観の⑤ せめぎ合いを、どうにかやりくりしながら生きています。

どこにいても、マイペースに振る舞える人もいれば、みんなといると自分を出せないという人もいる。自分ではうまく振る舞っているつもりでも、実際は体を縮ちぢこまらせている人もいるはずです。

⑥ 旅に出て、自分のことを誰も知らない場所に身を置くと、そのことがよく実感できます。それまでの経験や価値観が通用するかどうかもわからない場所で、人は自分を試ためされる。ましてそれがひとり旅なら、何かをするたびに自分で判断しなければならいわけで、まっさらな場所で「お前は何者なのか」と問われているような気持ちになるはず⑦です。そうやって自分で考え、自分で感じ、自分の手と足を使って学んでいくことを「経験」と言うのだと思います。囲いの外に出なければ、血肉となるような経験は得られないでしょう。

⑧ 質問を変えてみましょう。もし自分が帰る場所も国籍こくせきもなかったとしたら、それでも平気で生きていけますか?

講演会では、圧倒的に「ノー」という答えが多かった。やはり、

⑥ 帰属する場所がないというのは、かなり心許ないのだと思います。

難民の人たちのように、実質的に国籍がない、帰る場所がないという人もいれば、私のように早いうちから海外に行ってしまったせいで、日本人であるにもかかわらず、国籍と^⑦シンクロしない感性が育まれてしまう場合もある。

私は今、イタリアに住んでいるのですが、これまで中東のシリア、エジプト、ポルトガル、アメリカ、いろんなところを転々としながら暮らしてきました。

行く先々で受け入れがたい差異を感じることもあれば、その場所に適應するために受け入れざるを得ないこともあって、いろんな土地でいろんな文化や価値観に揉まれるうちに、自分がどこかに所属しているという感覚がどんどんあいまいになって薄れていき、いつの間にか囲いの外に、身ひとつで出ていたというわけです。

(ヤマザキマリ「国境のない生き方 私をつかった本と旅」による)

〔注〕

① 心許なせ……どこかたよりなくて不安なさま。

② 身がすくむ……おそれやきん張、ひ労などでからだがかわばって動かなくなる。

③ コミュニティー……地域社会など仲間意識をもって共同の生活をする

集団。

④ しっくりとくる……物事や人の心がほどよく合っている。

⑤ せめぎ合い……対立してたがいに争うこと。

⑥ 帰属する……特定の国や団体の一員としてそれにしがたう。

⑦ シンクロしない……一つにならない。シンクロはシンクロナイズの略。

資料B

問題が理解できれば解決できたと同じことだ、とよくいわれる。突然の事件が起こると、解決すべき問題がどこにあるのか、知識や経験のない人はすぐにはわからない。知識があっても、それが机上で暗記しただけの知識では、いざというときに役に立たない。知識は^⑧経験に裏打ちされて初めて使えるものになるし、そうやって初めて知識といえると考えてもよい。

その一方で、経験さえあれば世の中に通用するわけでもない。個別の経験をいくら積んでも、組織の^⑨不祥事のように経験とかけ離れた状況が突然現れたときには、しっかりした知識がなければ対応できない。的確に問題を解決するには、危機が起こってからではなく、ふだんから常に問題の理解を^⑩怠らないことが大切である。

こう考えると、問題を理解し、解決できるかどうかは、問題に関与する^⑪当事者がいかに「自分のこととして」問題をとらえているにかかっている。^⑫突発的な問題への^⑬迅速な対応は、当事者が問題の意味を常に問うているかどうかのカギになる。

自分にとっての問題の意味とは、自分の関心や希望と、具体的な目標やその達成を^⑭阻む制約との間の関係のことである。卒業試験に合格すれば新しい人生が待っているという学生の場合、達成すべき目標は卒業試験に合格すること、制約になっているのは試験の難しきであり、問題の意味とは人生が開けるといふことである。

また、問題を解くには、まず問題を発見し、理解しなければならぬ。^⑮混沌とした情報のなかから、自分にとって意味のある目標、それを達成するための手段、目標の達成を妨げるいろいろな制約条件を見つけ出すことが、まず大切になる。むしろ、問題がわかれば解けたと同じことだといわれるように、意味のある問題を発見したり理解したりすることのほうが問題を解くより大事になることも多い。

問題の発見や理解、問題の解決、これらはどれも思考のはたらきによるものである。ところが、こうした思考のはたらきは、複雑であるにもかかわらず、誰でも身につけていくことができる。問題解決のための思考のはたらきは、生後二カ月ぐらいいから始まり、生涯にわたって発達していく。問題の意味を発見し、理解し、解決していく思考のはたらきは、誰にでも、またどんな現実の場面にも登場する基本的な心の機能の一つである。

思考とは、いろいろな情報を心の中で結びつけたり、組み合わせたり、並べ替えたり、比較したり、^⑰系列化したり、変換したり、新しい情報を創り出したりするはたらきのことである。また、こうしたはたらきを総合して、まわりの状況や心の中が細かく変化しても、それにとらわれず、

いろいろな状況のどこが似ているか、何が原因で何が結果なのかを深く探ること、論理的にしっかりと判断をすること、新しい情報を創造することなどを、一貫して扱う心のはたらきである。また、こうしたはたらきによって、さまざまな情報の間の関係を創り出し、^⑱構造化していくことも、思考の機能の大事な部分である。

問題解決とは、何が問題かを理解するとともに、その問題を解く方法を見つけることであり、問題を発見することも含む。また、意思決定とは、行動がもたらす価値を予測して適切な行動を見出したり、複数の行動の予測価値を比較して適切な行動を選択することをいう。

問題解決と意思決定の間にも深い関係がある。たとえば、問題を解くときに一度に解けてしまうことは^⑲稀で、^⑳副次的な目標を立て、その副次目標を達成するための目標をさらに立てたり、試行錯誤を繰り返して答えを模索したり、意思決定を次々と繰り返すことが多い。

(安西祐一郎「心と脳—認知科学入門」による)

〔注〕

- ⑧ 経験に裏打ちうらうちされて……経験によって、信用できる状態になって。
- ⑨ 不祥事ふしやうじ……よくない事件。
- ⑩ 怠おこたらない……なまけたり、さぼったりせず、するべきことをする。
- ⑪ 当事者……そのことさらに、直接関係している人。
- ⑫ 突発とつぱつてき的な……とつぜん起こるような。
- ⑬ 迅速じんそくな……とてもすばやい。
- ⑭ 阻はばむ……じゃまをする。
- ⑮ 混沌こんとんとした……物事が複雑にいり混じって、区別がはっきりしない。
- ⑯ 制約条件……活動の自由を制限する条件。
- ⑰ 系列化けいれつかしたり……つながりや関係を整理したり。
- ⑱ 構造化かうくわしていく……仕組みを作っていく。
- ⑲ 稀まれ……めったにないこと。
- ⑳ 副次的な……中心となることさらに続くような。

〔問題1〕

資料A

に、いつの間にか囲いの外に、身ひとつで出ていたというわけです。とありますが、「囲いの外に出る」とはどのようなことだと筆者は考えていますか。百字以内で説明しなさい。

ただし、一まずめから書き始め、記号（、や・や「」なども字数に数えなさい。

〔問題2〕

資料B

で、問題がわかれば解けたと同じことだといわれるとありますが、筆者がこのように述べる理由を百字以内で説明しなさい。

ただし、一まずめから書き始め、記号（、や・や「」なども字数に数えなさい。

〔問題3〕

資料B

に、問題解決とは、何が問題かを理解することともに、その問題を解く方法を見つけることとあります。

あなたが資料Aの自分のことを誰も知らない場所に身を置くという状況ようになったとき、どのように問題を解決していきますか。

資料A、資料Bの内容をふまえて、具体例をあげながら四百字以上四百五十字以内で説明しなさい。

ただし、書き出しや改行などの空らん、記号（、や・や「」なども字数に数えなさい。